

東亞大演

愈々來ル十二月三十日

館内改造 面目一新
内容充實 天下無比
第一民衆娛樂大殿堂

日本劇專門

優排屬專
▲猛優 澤山正二郎一派
▲名花 水谷八重子一派
▲熱血兒 高木新一派
◎環歌子◎牧野輝子◎繪島八重子
其他名男女優百四十名出演

東亞大演 封劫場 日本館

御披露

獵銃製造工場

從來當地地方ニ銃砲製造修理所ナク皆
様ハ多額ノ費用ト御不自山トニ煩ハ
サレタ事ヲ遺憾ニ堪エマセンデシタ
ガ弊店ハ素ノ御高庇ニ酬ヒ度ク存
ジ萬端ノ排シ横濱、東京各銃器工場
カノ腕ノ勝レタル技術者ヲ招ギ工場
ヲ新設致シマシテ各般獵銃、空氣銃
ノ新調及修理ノ御要求ニ應ジ價格ヲ
最モ低廉ニ日限確實、小修理等ハ御
待合ノ内ニ調製致シマスカラ何卒御
用命ノ程ヲ御願ヒ申上マス尙葉書カ
電話デオ問合セ次第御返事シマス

日丁一町平城磐
内店藥火砲銃平社資合
所造製砲銃邊渡

番一四四話電



刊夕日八十月二十

品を安く賣るのは
大谷時計店
洋品部
弊店の主義であります
目丁三町平
番九一話電

電話新設披露
電話卅一番
平町土橋通り
原齒科醫院

建築材料

一、弊城セメント樽入 袋入
一、板ガラス各 種
一、壁用材料各 種
一、ペンキ塗各 種
御照會を乞ふ

セメント、板ガ
ラス安價になり
ました、
御照會を乞ふ

弊城セメント株式會社代理店
西村屋藥舖
平町二丁目電話三番

外交員募集

日本勸業債券通信社
福島共榮無盡會社
大谷保太郎
弊城平町南町電話三四四番
他ニ優遇法アリ希望者ハ履歴書
持参ノ事外交員ハ自宅ヨリ直接
特急ニ當ルモ差支ナシ

電話新設披露

電話三五八
平町鎌田町
金成醫院
金成忠義

郷土社

近刊新古本特賣
古書籍高價買入
新本如何なる種類
も割引取次します
通裏町銀白町平

是非

粹で上品な履物を
御求めの際は
平町二丁目 電話一五六番
三井履物店

内科・外科・花柳病科
耳鼻咽喉科・婦人科
赤心堂病院
平町四丁目電話四七五番

電話新設披露

電話三五八
平町鎌田町
金成醫院
金成忠義

年の瀨記 (中)

寄書 滿壽莊

師走の季節は流石の其角も
眞面目にならざるを得なかつたであらう
子を持たばいくつなるべき年の暮其角
に至つては此の酒豪にして尙此感ありやと其眞面目を超越した一種の悲哀を感ぜざるを得ない
輕薄を申しつくせる歳暮か南 牧童

げに々々明日こそは來月こそはと亂發したる凡ての手形も年の暮の總勘定となりてあれもこれも不渡りア、

今年も何事もなし得なかつた輕薄に日を送り迎へた事である即ち申しつくせるで分別の底たゞさけりとしのくれ はせを
輕薄に過ぎ來れる過去を悔いても今更どうしようもない豈獨り金錢の遺繰りのみならんやである
年のくれ互にこすき錢つかい 野坡
の境遇はまだくよけれ更け渡る大三十Hの門口に 提灯に物讀む人や大晦日 雪曉

勘定書の宛名を見て居るにや兎角かゝる催鬼の攻來る家の中では

首くゝる繩切れもなし年のくれ 蕪村
の四苦八苦これも日頃の意りからか其又隣りでは 恙なく大つごもりの寢酒かな 蚊足
なご、チン鴨の樂しき家もあるべきか
古筆のつゝく命や年の暮 野坡
浮世に用なき老の身は年の暮とて忙しき事もなければ 大年も雀の遊ぶ垣穂かな 杉風
垣のあたりを一めぐりして 鳩部屋の夕日静けし年のくれ 其角
と白髯を撫するも亦一與ならん

發行編輯人 川崎文治
一 部五錢 廣 五錢十二
二 部十錢 廣 十錢十二
三 部十五錢 廣 十五錢十二
四 部二十錢 廣 二十錢十二
五 部二十五錢 廣 二十五錢十二
六 部三十錢 廣 三十錢十二
七 部三十五錢 廣 三十五錢十二
八 部四十錢 廣 四十錢十二
九 部四十五錢 廣 四十五錢十二
十 部五十錢 廣 五十錢十二
十一 部五十五錢 廣 五十五錢十二
十二 部六十錢 廣 六十錢十二
十三 部六十五錢 廣 六十五錢十二
十四 部七十錢 廣 七十錢十二
十五 部七十五錢 廣 七十五錢十二
十六 部八十錢 廣 八十錢十二
十七 部八十五錢 廣 八十五錢十二
十八 部九十錢 廣 九十錢十二
十九 部九十五錢 廣 九十五錢十二
二十 部一百錢 廣 一百錢十二

印刷所 磐城郡平町長橋町廿五番地
發行所 常盤毎日新聞社

文部省が發行する 廉價な大學講義録

地方青年處女の爲めに 僅か廿錢位の定價

文部省が大學講義録を發行して通信教授を始めることになつた、名はお役所だけに「大學講義録」といふのを避けて「成人教育叢書」と稱へるが

實質は 全く大學講義録である

從來地方の青年處女がこの種の通信教授を非常に渴望し、またそれに應じて各私立大學等からいろいろの講義録を發行してゐるが、地方の青年たちにはそれが内容においてすぐれてゐるかを知らず、むづかしく、選擇に困る點もあり、また政治法律といった方面には可なり好評のある講義録も發行されて居るが今少し

通俗な 文藝科學經濟といふ様な方面には面白

いものが少い、その上に會費が随分高い講義録をとりまゝとまつた單行本を讀まうとすればこれもまた安くは手に入らぬ、この状態に鑑みて明十四年度から文部省はこれ等青年處女に讀ますべく講義録を發行することになつたのである、青年向としては法政經濟は素より哲學、科學、文學、農工業、商業その他萬般にわたつてもらさず全くそう合通信大學の觀あらしめる

處女向

のも現在の女子大學の教授科目と全く同じで家政文學以下の各科目がある、青年處女も自分が希望の科目について、通信教授を受けるといふ趣向である、そしてその最も特色とするのは講師に一流の大學者を網羅すること、購買費の安いことで一部十錢、廿錢程度で頒布する、まづ青年處女に對する國定教科書といつた譯である

中心に

なつて仕事をすする文部省社會教育課では少い豫算で如何に多くの讀者を得ようかと非常に力をこめ入れ準備中である (東京通信)

機關庫競技

平水戸に

平、水戸兩機關庫の機關車不良箇所點檢修理競技會は竹内水戸、鈴木平兩機關庫主任立會の上十七八の兩日は平機關庫、十九廿の兩日は水戸機關庫にて執行される筈であるが夫々技術の優秀な者を選抜して参加せしむる

縣議選舉名簿

石城郡に於ける本年九月十五日現在の縣會議員選舉人名簿は此程確定したが合計一萬

平驛の 貨物は閑散

發着共に激減

平驛十一月中の貨物發送状況は發送は木炭材木が依然として首位を占めて居るが一日平均四十五六噸位である到着は木材豆類粉類その他に比較すると昨年と同様に比較するとこれまた減少を來たし發送共に約三割方の激減を呈し特に木炭の如きは貨車が空車となつて遊んで居る始末であるがこれは東京で昨年の震災に仕入れた木炭が多量に過剰品となつて今は残つて居る事と東北地方の雪國が雪に鎖

繪葉書販賣店は 此處にも御座候

佐々木商店の不平

拜呈昨夕刊(新年繪葉書店頭を飾るの記事)につき親しく御面談申度夜分御伺申し候處御不在に候不

水産議員選舉

石城郡水産會豊間支部議員一名の爲め来る廿一日午前九時から同村公會堂にて補缺選舉を行ふ

東土木課長は轉任

解決策の一前提として

香坂知事の決意

大瀧發電所問題に關して縣當局が平全町民の意嚮に反して不當許可を敢へて爲す衝に當つた東土木課長は平町開けて以來の大紛擾を醸せるが如き憂慮すべき事態を惹起せる導火線となつたに拘らず未だ平然として其職に止まり平全町民から怨嗟の焦點となつて居たが愈々香坂知事は同問題解決の前提として同課長を他に轉任せしむべく決意せる由であるから近く其發表を見るに至るであらう

婚家を追はれ

若妻が投身自殺を圖る

石城郡豊間村大字沼の内字新街某妻同郡澤渡村生れ田子トメ(三)は三箇月前より肺病に罹り婚家を追はるゝ爲め悲觀して昨午午前一時頃忍かに家を出し豊間海岸より投身自殺を圖つた際通行人が發見救助したと

コン泥捕る

平署に引致

石城郡下小川村鈴木三郎は數箇月前から附近村落にて



庭家

塗物の手入法

漆器は熱い湯で洗ふとはげますから、ぬるま湯で手早く洗ひ乾いた布でよく濕氣をとつておかねばなりません

疑問な星一氏 夫人の怪我

見舞に行た人の話

星一氏夫人佐代子が去る廿日自働車に轢かれたとの新聞記事を見て其傷害の輕微なりしに拘らず一驚を喫したのは豫て星氏には夫人が無いと云ふ噂を信じて居た人々である

……ソレでお見舞をと新聞記事に依り本郡の或る人が青山南町を尋ね廻り交番で星さんの邸はと訊くと教へてくれたが其處の標札には星光とある

……星光とは豫て聞いた故星亨氏の子息であるサテは怪我をした夫人は間違ひかごマゴついて歩く前に恰もよし星製藥の重役菱田静治氏の家があつた早速訪ふて見ると星社長の宅は星光氏の直ぐ隣りと判つた

……ソレで又行つて見ると極めて粗末な黒塀の中に平家の間敷の五つもあるかと云ふ家だ然も表札は磨り消されて文字の影もない此れが星氏かと首肯されそうだが星一と星光の隣接も又奇ではあるまいか

平町人事

出生

- △紺屋町三ノ四 阿部伊三郎氏五男登
- △紺屋町四二 長谷川伊左衛門氏二男秀雄
- △田町一 水野時藏氏二男修平
- △古鍛冶町三八 木田好美氏長女ミヨ子

募集

文藝其他投稿を募集します

- △胡麻澤一七 片倉清治氏二女澄子
- △南町三六 遠藤正雄氏長男正敏
- △紺屋町五八 當時東京府下音竈町 齋藤金太郎氏二男弘
- △柳町八 早川庄七氏七女光子
- ▲六人町一 鹿又藏(六一)
- ▲二丁目六 鈴木善十郎(一〇)